



UNAIDS プレスリリース

「私たちは諦めない！UNAIDS は各国政府・コミュニティと共に歩み続ける」 第 56 回プログラム調整理事会（PCB）におけるメッセージ

ジュネーブ 2025年6月27日 スイスのジュネーブで開かれていた国連合同エイズ計画(UNAIDS)の第56回プログラム調整理事会(PCB)は今週、国際援助ドナー(提供国)が突然、HIV対策資金を大幅に削減するというエイズ対策史上例のない事態の中で幕を閉じた。

「国際的な HIV 対策資金が大規模に打ち切られることで、世界の HIV 対策が受けた衝撃は大規模なものであり、世界中の HIV 治療・予防プログラムに混乱をもたらしています」と UNAIDS のウィニー・ビヤニマ事務局長は語る。「しかし、もともと危機の真ただ中で創設されたプログラムです。危機に立ち向かい闘うことは DNA に刻まれています。私たちは諦めません。エイズ終結に向け、各国政府やコミュニティと共に闘い抜きます」

理事会は今回の会合で、UNAIDS の目的達成能力と強靱性に関するハイレベル委員会からの勧告、および国連 80 周年改革 (UN80) の方向性に基づき、新たな UNAIDS の運営モデルを承認した。すでに進行中の事務局再編を含む UNAIDS 改革の基盤となるものだ。

理事会は以下の 4 点を UNAIDS 事務局の中核機能とすることを承認した。

- ・ リーダーシップとアドボカシー (世界的な資金の運用を含む)
- ・ 世界の HIV 対策の持続可能性に焦点を当てた会議の開催と運営
- ・ データ、目標、戦略に関する説明責任
- ・ UNAIDS の活動指針となるコミュニティの関与

理事会メンバー、および加盟国、市民社会、コミュニティ、共同スポンサー機関、オブザーバーのすべてが、この困難な局面で UNAIDS への連帯を表明し、理事会メンバーは UNAIDS のプログラムに対する継続的かつ全面的な信頼を示した。

「UNAIDS は、私のような HIV 陽性者、そして私たちの子供や思春期の若者、女性と少女、すべてのキーポピュレーションの人たちなど HIV 感染のリスクに直面する人たちに向けたプログラムや政策の策定に中心的な役割を果たしてきました。UNAIDS のように活動するところは他にありません。政府や市民社会、そしてすべてのパートナーの仲介役です。影響を受けているコミュニ

ティの効果的な関与を実現し、私たちのためになされる決定には意味のある形で関わられるよう支援しています。そして何よりも、HIV とヘルスケアにおいて私たちの重要な役割が守られるようにしているのです。UNAIDS は活動を継続すべきです。皆でこの合同プログラムを支え、継続可能にしましょう」とアフリカ非政府組織代表団のマーサ・クララ・ナカト氏という。

2026～2031 年の世界エイズ戦略の概要を検討したことは今回の重要な成果だった。この戦略と 2030 年ターゲットは 2025 年 12 月の PCB で採択され、2026 年の国連総会エイズに関するハイレベル会合、および政治宣言に反映される。

多くの国が UNAIDS への支援を改めて表明し、新たな支援を明らかにした国もいくつかあった。ビヤニマ事務局長は、UNAIDS を継続的に支援してきたオランダ、デンマーク、オーストラリア、ドイツ、ルクセンブルク、アイルランド、ノルウェー、カナダ、日本、モナコに対し、2025 年に向けた資金拠出と長年にわたる揺るぎない支援、およびリーダーシップへの感謝の意を表した。

とりわけ、デンマーク、オーストラリア、オランダ、アイルランド、カナダ、中国、ルクセンブルク、英国の複数年にわたる拠出約束を評価し「私たちは確実性と予測可能性を得ることができました」と述べた。

事務局長は PCB 会合の傍ら、カンボジアおよびフランダース政府（ベルギーの地域政府）と新たな資金協定に署名した。

ベルギーは 2025～2028 年に総額 1200 万ユーロに及ぶ資金拠出の覚書を更新し、UNAIDS との長年のパートナーシップを再確認した。「UNAIDS との複数年協定を更新することで、ベルギーが人権に根ざし、コミュニティを対策の中心に据えた効果的で部門横断的な地球規模の HIV 対策を支援できることを誇りに思います。ベルギーはグローバルヘルスを地球規模の公共財と捉え、継続的な共同行動と国際協力が必要だと考えています。グローバルヘルスと HIV 対策、そして多国間主義における献身的なパートナーであり続けます」と、ベルギーのクリストフ・パヨ国連常駐代表兼大使は述べた。



ビヤニマ事務局長は、ドイツ政府が 2025 年までの UNAIDS への基本拠出金 200 万ユーロを前払いしたこと、およびポンの UNAIDS 拠点への職員移転費用として最大 50 万ユーロの追加拠出を行ったことに感謝した。ドイツのパウル・ズーバイル欧州・国際保健政策担当副事務局長は「共同プログラムの財政状況は深刻であり、UNAIDS の活動に支障をきたす恐れがあります。UNAIDS が 2025 年の使命を遂行できるよう、ドイツは包括的なコミットメントの一環として、200 万ユーロの追加拠出を決定しました」と述べた。

スペインは UNAIDS への支援増額を発表した。ポルトガルは拠出金の倍増、ポーランドも UNAIDS への拠出金増額を発表した。

「過去と現在における、すべてのドナーの貢献は私たちの成功にとって貴重かつ極めて重要です」とビヤニマ事務局長は述べた。

第 56 回 PCB はブラジルが議長国で、オランダが副議長、ケニアが報告者を務めた。UNAIDS 事務局長による理事会への報告書、各議題に関する報告書、そして PCB の決定事項はこちらから。
第 57 回 PCB は 2025 年 12 月 16～18 日にブラジルのブラジリアで開催される。

日本語仮訳：公益財団法人エイズ予防財団